



帯広市環境モデル都市の取り組み

ーおびひろBDFプロジェクトー

平成23年11月14日

帯広市

環境モデル都市について

おびひろBDFプロジェクト
について

地球温暖化対策は国際社会の急務

国際世論をリードする日本が、どのように低炭素社会を実現するのか、世界が注目



第169回国会（平成20年1月18日）
福田内閣総理大臣施政方針演説

世界の先例となる「低炭素社会」への転換を
進め国際社会を先導していく



「都市と暮らしの発展プラン」

（平成20年1月29日地域活性化統合本部会合了承）

これまでの取り組み
個別分野別アプローチ

政策分野別、主体別の対策、
対策技術について一定の知見
集積



新たな取り組み
統合アプローチ

知見の集積を社会経済シス
テムに組み込むため、一定の
フィールドを定め対応策提示

環境モデル都市構想



環境モデル都市選定 5つの視点

- 温室効果ガスの大幅な削減を目標
- 先導性・モデル性に優れている
- 地域に適応した取組み
- 実現可能性が高い
- 取組みが持続的に展開される

全国から
82件の提案

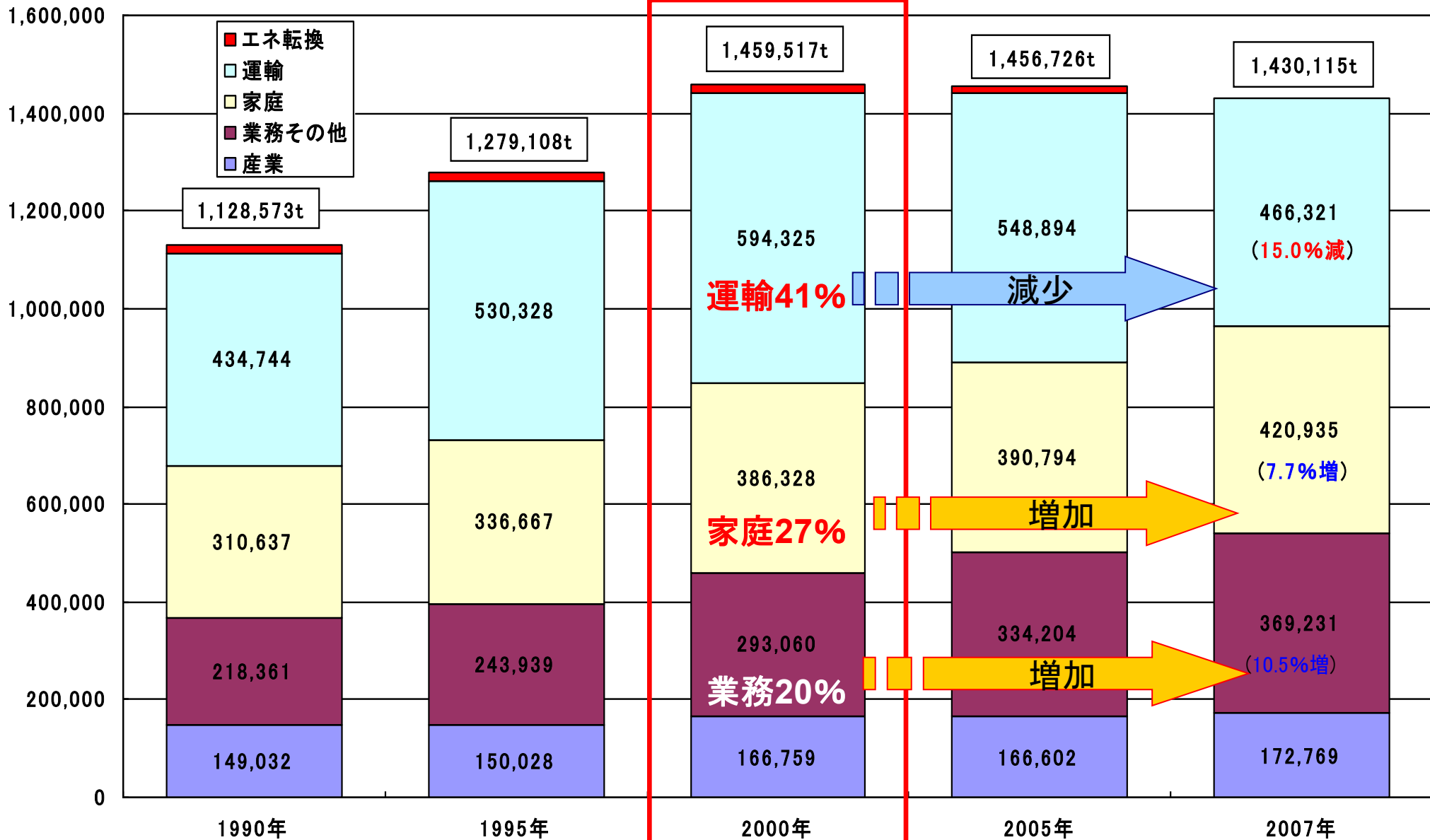
H20/7/22

環境モデル都市 帯広市 6団体
環境モデル候補都市 7団体

21年
1月

候補都市がモデル都市に
⇒ 13団体

帯広市CO₂排出量の推移



環境モデル都市 おびひろ

概要

- 人口17万人、総面積619km²
- 畑作や酪農を中心とした大規模農業経営を展開する十勝地方の中核都市
- 農業を中心とした「**田園環境モデル都市**」を目指す。

行動計画 二酸化炭素排出削減目標

2000年 1,459,517 t -CO₂/年

2030年 973,121 t -CO₂/年
削減量 486,396 t -CO₂/年
(33.3%)

2050年 711,935 t -CO₂/年
削減量 747,582 t -CO₂/年
(51.2%)

環境モデル都市行動計画 (H21.3)

1 住・緑・まちづくり

将来像 快適な都市環境が形成された社会～森・水・住環境～

2 おびひろ発 農・食

将来像 農地の経済的、環境的価値が進展した社会～食料供給・CO₂土壌固定～

3 創資源・創エネ

将来像◆化石燃料に頼らないエネルギー自給社会
◆地域資源の有効活用により産業が振興した社会 ～バイオマス・太陽光～

4 快適・賑わうまち

将来像 コンパクトなまちづくりや、環境負荷の少ない
交通体系が進展した社会 ～まちなかの賑わい再生～

5 エコな暮らし

将来像 環境に配慮した生活実践が進展した社会 ～「もったいない」運動～

住・緑・まちづくり

将来像

快適な都市環境が形成された社会
～森・水・住環境～



- 100年の大計で取り組む
「帯広の森」の育成・活用とみどりのまちづくりの推進
- 環境リサイクル施設の集積(仮称) エコタウンの造成
- 街灯、防犯灯の省エネ化
- 省エネ建築の促進
- 公共施設のストック活用と長寿命化

おびひろ発 農・食

将来像

農地の経済的、環境的価値が進展した社会
～食料供給・CO₂土壌固定～

- 自然と共生する循環型・環境保全型の地域づくり
- 地産池消の推進
- 広大な農地を温室効果ガスの吸収源とする取組みの推進



創資源・創エネ

将来像

- ◆化石燃料に頼らないエネルギー自給社会
- ◆地域資源の有効活用により産業が振興した社会
～バイオマス・太陽光～



●豊富なバイオマスの活用

おびひろBDFプロジェクト

- 新エネルギー技術の導入促進とクリーンエネルギーの導入
- 太陽光発電の普及
- 燃料の天然ガス・LPガスへの転換
- 豊富なバイオマスからの水素製造

快適・賑わうまち

将来像

コンパクトなまちづくりや、環境負荷の少ない
交通体系が進展した社会
～まちなかの賑わい再生～



- おびひろまち育てプランの中心市街地活性化の具現化
- 環境にやさしい公共交通の利用促進
- 道路交通ネットワークの見直し、構築
- 自転車、歩行者利用環境の整備
- 自転車ツーリングの仕組みづくり



エコな暮らし

将来像
環境に配慮した生活実践が進展した社会
～「もったいない」運動～



- 全市民運動の展開
- ライフスタイルの変革
- ゴミリサイクル率の向上
- 木質ペレット等の普及
- 市民ボランティアの拡充
- 環境に配慮したエコ生活の実践



環境モデル都市行動計画進捗状況

行動計画5つの柱	CO ₂ 削減量					
	H21(2009)			H22(2010)		
	計画(t)	実績(t)	進捗率(%)	計画(t)	実績(t)	進捗率(%)
住・緑・まちづくり	1,378	1,560	113.2	2,611	2,985	114.3
おびひろ発農・食	12,643	10,919	86.4	19,070	12,591	66.0
創資源・創エネ	11,346	4,315	38.0	17,067	13,999	82.0
快適・にぎわうまち	21	0	0.0	43	0	0.0
エコな暮らし	1,749	2,308	132.0	6,047	6,746	111.6
計	27,137	19,102	70.4	44,838	36,321	81.0

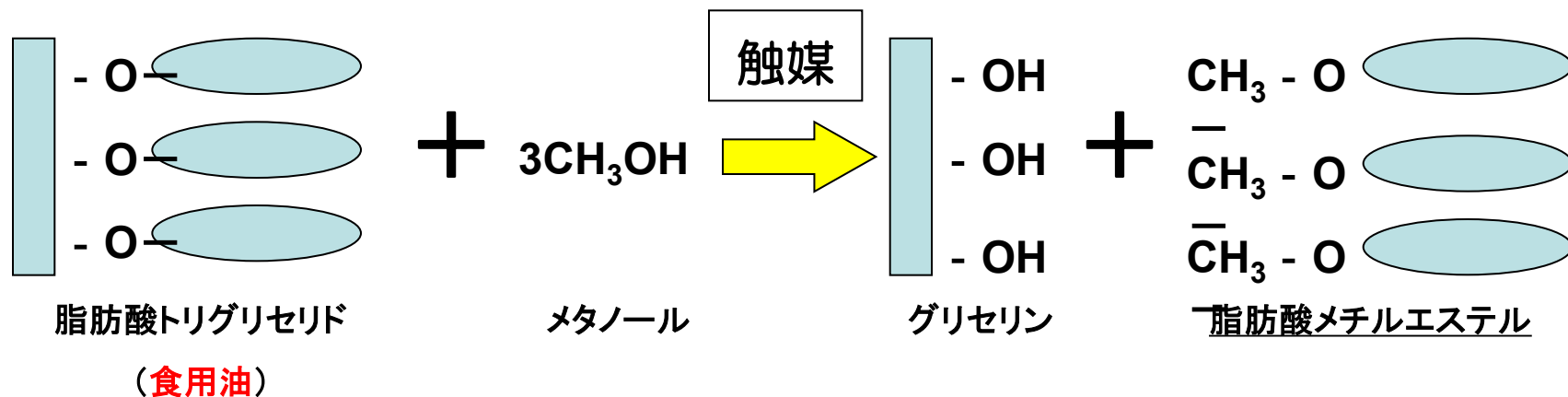
帯広市CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	2000年	1,459,517
行動計画目標削減量(t-CO ₂)	2013年	120,957
	2030年	486,396
	2050年	747,528

おびひろBDFプロジェクト

BDF (**B**io **D**iesel **F**uel) ⇒ バイオディーゼル燃料

ガソリン ⇒ バイオエタノール

軽油 ⇒ BDF (脂肪酸メチルエステル)





〈廃てんぷら油〉

平成20年度開始



〈BDF利用車両〉



〈回収拠点〉



〈製造施設〉

実施体制

帯広市

- ・スーパー等回収拠点の開拓、拡充
- ・町内会での回収活動の推進(ルールづくり)
- ・帯広市公用車でのBDF利用推進

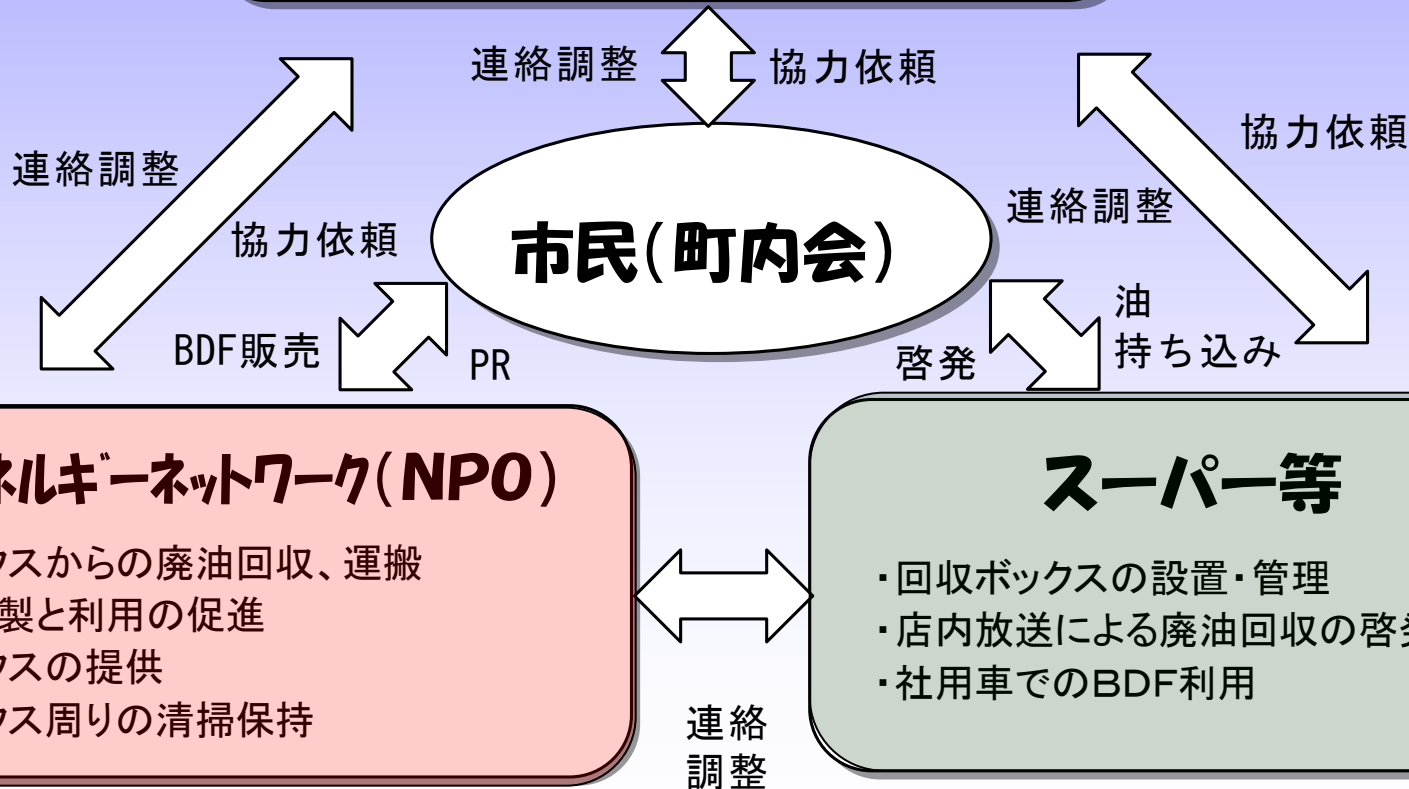
市民(町内会)

十勝エネルギーネットワーク(NPO)

- ・回収ボックスからの廃油回収、運搬
- ・BDFの精製と利用の促進
- ・回収ボックスの提供
- ・回収ボックス周りの清掃保持

スーパー等

- ・回収ボックスの設置・管理
- ・店内放送による廃油回収の啓発
- ・社用車でのBDF利用



回収拠点



スーパー等	25箇所
ガソリンスタンド	34箇所
官公庁	4箇所
事業所等	128箇所
町内会等	5箇所
学校・保育所等	32箇所
公共交通	4箇所

計	232箇所
---	-------

製造施設



(株)エコーC

製造能力 3,600 ℓ / 日
製造実績 378,717 ℓ / 年



昭和工業(株)

製造能力 400 ℓ / 日
製造実績 58,320 ℓ / 年

利用車両



帯広市塵芥車



十勝総合振興局公用車



民営路線バス



スーパー配送車



飲料メーカー配送車

CO₂削減効果等

●回収実績

H21 家庭用 75,500ℓ

業務用 64,500ℓ 計 140,000ℓ

H22 家庭用 83,919ℓ

業務用 105,054ℓ 計 188,973ℓ (前年度比**1.3倍強**)

●CO₂削減効果

H21 348t-CO₂削減

H22 487t-CO₂削減

●今後の課題

- ・さらなる回収率アップ
- ・B5燃料の普及促進



ご清聴ありがとうございました。